前線等による大雨を対象とした、直轄河川管理区間沿川の市町村の避難勧告の発令等に着目したタイムライン（防災行動計画）

R2.12月版

※ 避難勧告等に関するガイドライン（内閣府：平成31年3月）を参考に作成。また、秋田県からの情報は、割愛している。
※ 時間経過や対応項目については想定で記載。

※ 避難情報は、雄物川の状況に対応したものであるから、他の水位周知河川等の水位予測等について同様に把握し、避難情報等の対応を行う。

気象情報

◇早期注意情報（警報級の可能性）（警戒レベル1）

□防災メール（随時）

◇大雨に関する秋田県気象情報

◆大雨注意報・洪水注意報（警戒レベル2）

■大雨洪水警報の危険度分布（随時状況確認）

◆大雨・洪水警報（警戒レベル3相当）

■ホットライン（随時）

◆土砂災害警戒情報（警戒レベル4相当）

◆記録的短時間大雨情報

■ホットライン

◆大雨特別警報（警戒レベル5）

大雨特別警報に関する気象庁記者会見

◆大雨特別警報切り替え
◆河川氾濫に関する情報

※気象・水象情報に関する発表等のタイミングについては、地域・事象によって、異なります。

雄物川水位

参考：神宮寺と椿川の相関水位
神宮寺の9時間後、椿川に到達
神宮寺(3.44m)→椿川(5.60m)
神宮寺(4.89m)→椿川(6.60m)
神宮寺(6.92m)→椿川(8.00m)
神宮寺(7.07m)→椿川(8.10m)

参考：新波と椿川の相関水位
新波の2時間後、椿川に到達
新波(9.51m)→椿川(5.60m)
新波(11.01m)→椿川(6.60m)
新波(13.11m)→椿川(8.00m)
新波(13.26m)→椿川(8.10m)

水防団待機水位到達－22h
椿川水位観測所（水位5．6m）

警戒レベル2相当
氾濫注意水位到達 －16h
椿川水位観測所（水位6．6m）

危険箇所：雄和女米木地区（個別）
椿川水位観測所（水位7.03m）
危険箇所：雄和左手子地区
椿川水位観測所（水位7.70m）

警戒レベル3相当
避難判断水位到達 －13h
椿川水位観測所（水位8．0m）

警戒レベル4相当
氾濫危険水位到達 －10h
椿川水位観測所（水位8．1m）

参考：椿川観測所左岸無堤地盤高
椿川水位観測所（11.0m）

警戒レベル5相当 －0h
堤防天端等水位到達
越水・溢水
氾濫発生

秋田河川国道事務所

○施設（堰、樋門樋管等）の点検・操作確認
○高水流量観測体制の確認 ○ダム放流状況の把握
○河川工事の中止、機材撤収、安全確認
○災害対策用資機材・復旧資機材等の確保

【体制準備】
※3時間予測で今後の水位上昇を確認、注意体制の準備に入る
○リエゾン体制の確認 ○関係機関の体制確認
○CCTVによる監視強化

○応援体制の確認（防災エキスパート）
○自治体支援体制の確認（リエゾン・災害対策機械）

【注意体制】
水防警報（待機・準備）
■災害対策機械の派遣
○施設（堰、樋門樋管等）の操作

【警戒体制】
洪水予報（氾濫注意情報）
水防警報（出動）
○出水時点検（巡視）
○CCTVによる監視強化
○防災エキスパートの要請
■水防警報（指示）
■水位の見込み情報

洪水予報（氾濫警戒情報）
■リエゾンの派遣
■ホットライン
■水位の見込み情報
○出水時現地調査
○危険箇所監視班出発

【非常体制】
洪水予報（氾濫危険情報）
■漏水・浸水情報
■緊急即報メール発信（氾濫危険）
■ホットライン
■水位の見込み情報
○危険箇所監視

洪水予報（氾濫発生情報）
■緊急即報メール発信（氾濫発生）
■ホットライン
緊急復旧、堤防調査委員会設置
○TEC－FORCEの活動 ○被害状況・調査結果等の公表
○被害状況の把握（ヘリコプター等による迅速な状況把握）

洪水予報（臨時）

秋田市

○気象・水位の今後の予想について情報収集
○全庁への注意喚起
○参集要領の確認

【準備態勢】（連絡および招集ができる体制）
○担当者による継続した情報収集（状況悪化を予期した収集）
○関係各課（特に消防、市民生活部、建設部）への注意喚起
○参集者の事前指定
○災害対策機械（国・県・市のポンプ車等）の状況確認

【災害警戒対策室】設置・第1動員
○避難情報の早期発令の検討（夜間・早朝の場合）
（最悪な事態を想定した避難情報発令の決心時期の検討）
○市全域河川の現地情報の収集（各SC・建設部・現地派遣等）
○災害対策機械の派遣要請 ※各SCとは市民サービスセンター

【警戒態勢】（水防要員・水防団員が水防活動ができる体制）
【災害警戒対策部】設置・第2動員
○避難情報発令に資する現地確認（重点箇所）
○避難情報発令時期の判断

○水防団等からの情報収集
○要配慮者施設、学校等への連絡
○避難所の開設
○今後の雨量・水位を含めた避難情報発令の総合判断

警戒レベル3
避難準備・高齢者等避難開始発令※
●Lアラート、防災ネットあきた、HP、FMあきた、ツイッター、フェイスブック、広報車による周知

【非常態勢】（水防要員全員による非常活動ができる体制）
【災害対策本部】設置・第3動員
○避難状況の把握（各SC等から）
○被害状況の把握（建設部、各SC等）
○今後の雨量・水位を含めた避難情報発令の総合判断

警戒レベル4
避難勧告発令※
●Lアラート等による周知

○避難状況の把握（各SC等から）
○被害状況の把握（建設部、各SC等）
○危険性・避難の切迫度の伝達を考慮した避難情報発令の総合判断

警戒レベル4
避難指示（緊急）発令※
●Lアラート等による周知

警戒レベル5
災害発生情報発令
●Lアラート等による周知

○避難状況の把握、避難者への支援
○自衛隊への派遣要請
○他都市への応援要請

※ 避難情報の発令タイミングは、時間帯や気象、水位予測情報、被害状況等から総合的に判断する。

安全の確認
避難情報の解除

住民等

○テレビ、ラジオ、インターネット等による気象警報等の確認
○ハザードマップ等による避難場所・避難ルートの再確認

○災害への心構えを高める（警戒レベル1）
○避難グッズの準備・確認
○マイタイムラインの確認

○避難に備え自らの避難行動を確認（警戒レベル2）
○自宅に対する応急対策

○テレビ、インターネット、携帯メール等による大雨や河川の状況を確認
○必要により、2階等の安全確保（垂直避難の準備）

高齢者等の避難に時間を要する人は避難開始
○テレビ、インターネット、携帯メールに避難準備情報の受信
○高齢者等の避難開始
○高齢者等以外は避難準備

対象地域の避難開始
○テレビ、インターネット、携帯メール等で避難情報の受信
○緊急速報メール（氾濫危険情報）の受信
○広報車等の呼びかけ確認

最終的な危険回避行動
○周囲の危険から直接身を守る行動

避難完了

避難行動

○緊急速報メール（氾濫発生）・氾濫発生情報の受信
○危険から直接身を守る行動

避難解除